

2. 今後に活かしていくべき取り組み

1. 連携強化

i 学校との連携

- ・事前に連携手順等の共通理解を図ったことで、スムーズな対応が可能となった。(P8)
- ・学校の一斉メールを活用し、利用者へ情報発信をしてもらった。(P8)

ii 行政との連携

- ・対応方法について、密に連絡を取り合うことができた。(P9・15)
- ・陽性者の報告方法について、事前に徹底が図られていたため、混乱なく対応することができた。(P6)
- ・保健所とも適宜情報交換を図ることができた。(P6)

2. 業務効率

i オンライン化

- ・研修をオンライン化したことにより移動時間の削減につながった。(P16)
- ・多くの職員が参加できるようになった。(P16)

ii 説明会の簡素化

- ・三密回避を目的に、説明会の参加者を限定したが、お手紙等を活用したことでその後のトラブルも発生することなく対応できた。(P10)

iii 職員間の連携

- ・保健所への陽性者報告のため施設内に情報共有用のノートを準備し、職員間での情報共有の徹底を図るようになった。(P14)
- ・各種報告や消毒作業に関するマニュアルを作成したことで、どの職員でも同じように対応できるようになった。(P7・13)

3. 児童・保護者対応

i ルールの可視化

- ・やさしい言葉を用いたポスターを掲示し、感染予防対策の徹底を図った。(P12)
- ・児童の距離確保のため、立ち位置や座り位置に目印を貼るなど、児童の判断を助けるような工夫をした。(P9・12)

ii 活動内容の周知

- ・お迎え時に児童の様子をこれまで以上にお伝えできるように心がけた。(P14)
- ・玄関に活動の様子を掲示するなどして、保護者が安心できるよう心がけた。(P14)

4. 行事企画

i 新たな企画

- ・自宅でも参加できるイベントを企画し、利用者以外の児童も含めて、多くの児童が参加してくれた。(P10・11)
- ・コロナ禍により地域交流の機会が減少したが、地域ボランティアや町内会から理解が得られるよう適宜相談を行い、地域とのつながりを絶やさない工夫を行った。(P11)
- ・コロナ禍により乳幼児親子の受入れが縮小したことから、近隣の保育園や幼稚園の協力のもと、乳幼児家庭向けのおすすめレシピをおたよりに掲載し、自宅で楽しめるような工夫を行った。(P11)

ii 企画立案スキル

- ・企画立案時に、安全面や衛生面を考慮するようになった。(P16)